

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	3
委員会報告	4
12月定例会 議案等審議結果一覧	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



どんど焼き (1月9日 福岡地内)

12月定例会が11月24日(火)に招集され、12月1日(火)までの8日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は4ページに掲載しています。
※なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報那須烏山第124号」をご覧ください。

- 1 TPP交渉大筋合意について
- 2 人口減少対策と「地方創生」及び「改正地域再生法」について
- 3 旧烏山女子高校の跡地について
- 4 本市の水道料金について
- 5 市内公共施設の安全点検について
- 6 森林資源の有効活用について



平塚 英教 議員

- 1 大規模自然災害への備えについて
- 2 元気な健康高齢者を増やす健康福祉ポイント付与制度について



小堀 道和 議員

- 1 河川の災害対策について
- 2 全国学力テストの結果について
- 3 学校教育について



中山 五男 議員

- 1 本庁舎の整備について
- 2 今後の財政運営について



滝口 貴史 議員

- 1 子育て支援の拡充について
- 2 読書推進について
- 3 バス通学について



矢板 清枝 議員

- 1 知恵と協働によるまちづくりプラン11プラス2について
- 2 空き家対策について
- 3 いじめ問題について
- 4 太陽光発電所について



高田 悦男 議員

- 1 敦賀市に不法投棄された一般廃棄物について
- 2 環境基本計画と公共工事の建設発生土の処理について
- 3 ごみの減量化について
- 4 水道事業について
- 5 地方版総合戦略について
- 6 林地開発の許可について

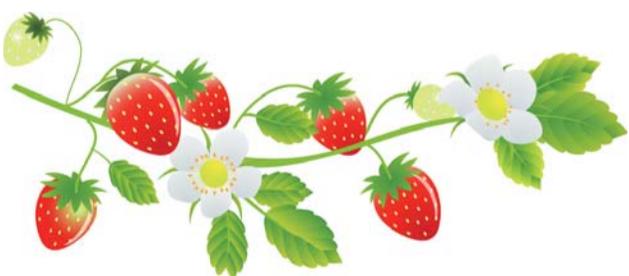


渋井 由放 議員

- 1 地方創生の取り組みについて
- 2 環太平洋経済連携協定(TPP P)による影響と対策について
- 3 ふるさと応援寄付金について
- 4 市生活排水処理構想策定について
- 5 烏山中体育館裏の通路舗装について



渡辺 健寿 議員



- 1 大谷市長の政治姿勢について
- 2 地方創生ふる里創生の原点は



沼田 邦彦 議員

- 1 交通安全対策について
- 2 七合保育園について
- 3 道路整備の進捗状況について



田島 信二 議員

- 1 人口問題について



樋山 隆四郎 議員

一般質問議員と質問項目 (質問順)

※赤字になってる項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

議会の動き

平成27年10月

31日○議会だより第38号発行

11月

17日○議会運営委員会
○議員全員協議会
24日○第6回定例会
(12月1日まで)
○行財政改革調査特別委員会

12月

26日○議会広報委員会
27日○各常任委員会

1日○議会運営委員会
○予算・決算・要望意見等追跡調査評価報告書提出
3日○3常任委員会合同視察研修
(4日まで・埼玉秩父市)

21日○総務企画常任委員会
○議員全員協議会
○議会運営委員会

平成28年1月

14日○議会広報委員会
19日○議会広報委員会
25日○議員全員協議会
29日○議会運営委員会
○議員全員協議会
第1回臨時会

平成27年12月定例会
一般質問から
 ※質問・答弁の内容は要約してあります。
 会議録は市立図書館及び市ホームページで
 閲覧できます。

滝口 貴史 議員

本庁舎の整備について

(問) まちづくり1丁目1番地である庁舎整備、また未耐震の南那須、烏山両庁舎の暫定運用について問う。

(答) 新庁舎の機能、場所、スケジュール等については、現時点において具体的なにお答えすることはできない。機能の集約化、多機能化を念頭に置いた検討を進めてまいりたい。

庁舎の新設整備の早期実現は非常に困難である。既存の公共施設を活用した暫定運用を優先的に検討することが現実的であると考えている。平成24年度に実施した市烏山庁舎及び南那須庁舎の耐震診断の結果は、両庁舎とも耐震不足が指摘をされるとともに、耐震補強工事及び大規模改修を実施するには多額の財政出動が必要になることが報告されている。暫定運用となる両庁舎に対し多額の費用を投資することは困難である。一方、県の南那須庁

舎の活用も検討しているが様々な課題を踏まえ費用を見積もり、費用対効果が上がるのであれば、県庁舎への移行も早急に検討していきたいと思う。

中山 五男 議員

河川の災害対策について

(問) 近年の異常気象からして災害は忘れないうちにやってくる。去る9月の豪雨でも、荒川では7カ所にわたり堤防を溢水している。これらの箇所は洪水の都

度被害を繰り返している。これは河川法の定めからして河川管理者の管理義務違反である。市長は河川法を盾に管理者宛、速やかに改修を請求すべきでないか。

(答) 那珂川及び荒川、江川など那珂川支流の河川改修要望は定期的に行っている。その結果、荒川では向田地区堤防の測量が始まり、三箇地区では河床整理工事等が実施された。今後

も引き続き早期着工に向け国・県等へ要望していく。**英語教育の成果について**
 (問) 本市では英語教育を幼稚園から始めていることから、今年度も予算額で3300万円程投入している。そこで、中学3年生のうち、英語で片言ながらも日常生活が可能な生徒の割合を伺いたい。
 (答) 英会話の可能な生徒の割合調査は行なっていないので算出できないが、今年度、3級以上の英語検定受験者数は2回終了時点で延べ人数150名あった。



スコット先生の英語遊び(つくし幼稚園)

小堀 道和 議員

大規模自然災害への備え

(問) 関東・東北豪雨で鹿沼市などは想定外の被害に遭い、ボランティアセンター立ち上げから受け入れ、情報収集など一連の対応が

後手後手になり大混乱した。被災各市では防災対策関係のマニュアル等を全面的に見直すそうだが本市の対応について伺う。また、社協や市役所職員を含め市民ボランティアを募り事前研修・訓練しておくべきと考えるが見解を伺う。

(答) ボランティアセンター



関東・東北豪雨の被災地へ物資を運搬

立ち上げに関するマニュアルなどはないため、社協等と連携して構築したい。人材についても大規模自然災害への体制を構築したい。

健康福祉ポイント付与制度

元気な健康高齢者を増やす

(問) 自らの健康づくりに励み、介護福祉活動等に積極的に取り組む健康高齢者づくりを後押しするポイント付与制度を導入し、健康長寿No.1のまちを目指すべきと考えるが見解を伺う。

(答) 健康長寿実現は最重要課題である。まちづくりチャレンジプロジェクトの採択団体が調査研究しており、市としても連携を図り検討していく。

平塚 英教 議員

TPP交渉大筋合意について

(問) 「農産物重要5品目(コメ、麦、牛・豚肉、乳製品、砂糖)は交渉除外又は再協議の対象とする」「交渉により収集した情報は国会に速やかに報告し、国民に十分な情報提供を行う」「国の主権を損なう条項には合意しない」とした国会決議に反し、限りなく譲歩して

大筋合意したTPP交渉は、日本と本市農業に壊滅的な影響を及ぼす可能性があり、撤回しかなないと考える。市長はこの事態をどのように受け止め、本市農業をいかに守り、再生する対策を図るか伺いたい。

(答) TPP大筋合意が示され、本市農業生産現場の不安は非常に大きいと感じている。国が進めるTPP

関連政策大綱に基づき、本市農業に一番効果的で生産意欲の出る策を検討したい。転作政策の転換期の中で今後どうしたら本市農業を維持発展できるかグラウンドデザインを描き若い方が将来に夢を持てる農業を目指す。国に対しても政府の責任で万全な対策を講じるように強く要望してまいりたい。

渡辺 健寿 議員

環太平洋経済連携協定(TPP)による影響と対策について

(問) 関税の撤廃に伴う農業への影響は大きい。生産現場である農家にどう説明し、どう誘導していくのか対策について伺う。対応次第では農業生産のみならず農村地域全体が加速度的に衰退してしまう恐れがある。

(答) 米の関税がゼロということになれば国産米の生産は激減し、水田は壊滅的影響も危惧される。市としては、できる限りの方策を検討し、農家の不安を少しでも解消できるよう適切な情報の伝達と経営支援対策の充実をはかる。

ふるさと応援寄付金について
 (問) ふるさと納税寄付者に対する特典の拡充策の内容・PR対策及び寄付金の目標額を伺う。

(答) 観光情報パンフレット、イメージキャラクターグッズのほか寄付額に応じ最大3万円相当の記念品を贈る。なお記念品は市内の法人、個人事業者より募集し、目標額は1億円突破とする。

烏山中体育館裏の通路舗装について

(問) 整備計画はあるのか。
 (答) 体育館及びプール棟周辺の舗装等の環境整備の中で行っていく。

渋井 由放 議員

ごみの減量化について

(問) 本市の環境基本計画では、事業者は機械式生ごみ処理機等を利用し、ごみの減量化を図っていただきたいとなっている。保育園・幼稚園での機械式生ごみ処理機を使用した生ごみの減量化など、市としての取り組みができないか伺う。

(答) 市民や事業者等に協力をいただき、ごみの減量化に向けた取り組みを展開してきた。しかし、平成25年度版とちぎの廃棄物によれば、本市のごみ再生利用率は10%で県内自治体最低位である。これは衣類と生ごみの再資源化が図られていないことが影響している。

平成28年度からは、従来家庭系一般廃棄物として収集していた市役所及び市の出先機関から排出されるご



廃材を活用したおみこし製作(すくすく保育園)

みは、事業系一般廃棄物として収集する。幼児期における環境教育は、生涯にわたり環境保全意識を身につけるための重要な役割を担っている。保育園・幼稚園も1つの事業所として、給食等で残った生ごみを初めとする廃棄物について、より徹底した減量化に取り組む必要がある。

高田 悦男 議員
空き家対策について
 (問) 空き家の増加に伴い火災等の災害、獣害、雑木繁茂による近所迷惑が危惧される。具体的な事業とそ

の対応について伺う。
 (答) 直近ではスズメバチの巣における案件があり、空き家の所有者を特定しスズメバチ駆除業者を紹介する。また雑木繁茂に係る相談があった際は、危険性があると判断し市側において伐採し、その処分は所有者側にお願した。

いじめ問題について
 (問) 県教育委員会が実施している「いじめ相談さわやかテレホン」の相談件数が激増している。本市の小学校における「いじめ相談」の状況について伺う。
 (答) 本市では平成25年9月のいじめ防止対策推進法の施行により、学校いじめ防止基本方針を策定し、各学校のホームページに公表。いじめの事案については、平成27年度9月までの上半期に5件あった。うち4件は、本人や保護者から



烏山中学生が利用している市営バス(烏山高部線)

学級担任、養護教諭への相談であり、残り1件は、校内で教員が発見したもので、この5件についてはすべて解決している。

矢板 清枝 議員

子育て環境の充実について

(問) 本市では幼児保育について4月から済生会病院での広域利用を図っている。現段階の利用状況と今後の市内設置の考えを伺う。

(答) 4月から9月までの半年間で、本市児童の利用はない。施設までの距離が遠く不便なため、市内施設での幼児保育事業実施が望ましい。小児科医が常勤する那須南病院での実施が最適であると判断し要望書を提出したところ、11月11日に南那須地区広域行政事務組合幹事会で組合側から要望書どおり実施する方向で検討する旨の報告があった。今後は幼児保育事業を実施するにあたり、実務的なことなどを含め、那須南病院、本市、那珂川町で検討したいと考えている。

バス通学について

(問) 烏山中学校生徒のバス通学で、スクールバス区間と市営バス利用の区間があり、改良が必要と思うが今後の考えを伺う。

(答) 不公平感をなくすため、また子供たちの安全対策のためにも、単独のスクールバスを運行したいと思う。

樋山 隆四郎 議員

人口問題について

(問) 旧烏山町と南那須町の昭和22年の人口は4万6900人であったものが、平成17年合併時には約3万1500人、そして現在約2万7千人と激減している。そこで、本市における人口減少要因を伺う。

(答) 大きな要因は、未婚者の増加、晩婚化にある。アンケート調査の結果によると、結婚する意志がない、恋愛が面倒、結婚に魅力を感じない等の理由により1割の人が結婚するつもりがないと回答した。本市における平成22年の国勢調査によれば25歳から39歳までの男性の未婚率が57.7%と全国でも高い比率を占めている。また男女とも初婚年齢も高く、出生者数が激減している。

田島 信二 議員

七合保育園について

(問) 七合保育園の建物全体が耐震になっていないか伺う。

(答) 七合保育園は、昭和49年に木造平屋で建築され、本年で41年目を迎える施設である。建築基準法上の新耐震基準が導入された昭和56年以前に建築された施設につき、耐震未対応となつていて、これまでに、東日本大震災において建物の一部に被害を受けた部分の補修や施設設備等の老朽化に伴う改修は行っているが、大規模な改修は行っていない。



築41年を迎えた七合保育園

沼田 邦彦 議員

八溝山周辺地域定住自立圏構想と那須地域定住自立圏構想について

(問) 広域行政パートナーの那珂川町は既に両構想に参加し取り組んでいる。本来であれば本市も同一行動をとるべきである。今後、市単独を貫くことで消滅可能性都市と決別する裏付けは、あるのか伺う。

(答) 八溝山周辺地域定住自立圏構想について、大田原市からの説明を受けている。現在F.I.T構想(福島・茨城・栃木の県際地域の交流を深め豊かな地域づくりを目指す構想)を中心に交流活動を進めている。2つの定住自立圏の加入も含め広域的な市町村連携を視野に入れ前向きに検討し、年度内に方向性を決めたい。

地方創生、ふる里創生の原点は

(問) 我が市には1世紀にわたり地域社会と共存し貢献されてきた4世代同居家族がおられる。日本らしさ田舎らしさを体現する4世代同居家族へ、栃木県内で初めて祝意を表すことで那須烏山市らしさを強力に発揮、発信すべきと考えるが市長の見解を伺う。

(答) 祝意を込めた感謝状贈呈や関連する規定について、人口減少対策に対する支援制度などの地方創生の制度化に向け検討する。

主な質疑

12月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について

議員 マイナンバー制度が実施されることに伴い市独自で行う事務で個人番号を利用するための条例とのことだが、個人番号通知郵送の進捗状況といつ頃終了する見込みかをお尋ねする。また情報漏えい対策のための役所内での研修について伺う。

答弁 12月中旬に1回目の配達は終わる予定である。12月4日、県職員を講師に特定個人情報取り扱いガイドラインの研修を行う。各課職員には十分周知する予定。

議員 職員又は事務を委託された企業が個人情報を目的以外に使用又は漏えいした場合の罰則規定はどこに定めてあるのか。

答弁 罰則規定はマイナンバー法の第67条から75条に記載されている。正当な理由なく特定個人情報を提供した場合4年以下の懲役または200万円以下の罰金となっている。

嘱託職員及び臨時的任用職員の任用、給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正について

議員 スクールバス運転手の勤務時間について伺う。また採用にあたっては、適正検査を実施する等十分な配慮を要望する。

答弁 スクールバスの運転手の勤務時間は、登下校バスの運転時間・給油と清掃・点検を含めて1日5時間である。委託先のシルバー人材センターでは適正検査をしているが、市での検査についても検討していきたい。

税条例の一部改正について

議員 全期前納報酬金を廃止するにあたり実効性のある徴収方法は整ったか。

答弁 地道な交渉とその積み重ねが収納につながっている。納税義務を果たさない納税者に対しては、厳しく滞納処分を行い税率のアップを目指したい。

平成27年度一般会計補正予算(第3号)について

議員 ふるさと観光資源活性化推進事業費と観光振興費の内容について伺う。

答弁 観光資源活性化推進事業はイルミネーション事業費である。観光振興費は、まちなか観光マップ1万枚作成と、るるぶ2万部増刷の費用である。



多くの人でにぎわったイルミネーション

議員 当初予算比10%以上の生活保護扶助費の補正内訳について伺う。また、生活保護新規認定者数と人口に対しての認定率の県下順位、今後少子高齢化で多くなると思われる受給世帯に対する見通しを伺う。

答弁 生活保護扶助費3207万4千円の補正の内訳は、生活扶助費330万円の減額、医療扶助費3313万9千円の増額、介護施設への入所に伴う扶助費233万円増額である。認定状況は123世帯173人。県下では低い認定率になっている。今後はやはり、高齢化に伴い保護対象は増加傾向になると考える。中高年でも仕事ができるよう健康づくり・雇用の確保を促進し、生活安定に努力傾注したい。

議員 一般廃棄物収集運搬業務委託額を、1年あたり約1200万円増額した理由を伺う。

答弁 参考としている栃木県の公共工事実施設計労務単価が、約2割増加したことによる増額である。

議員 市の各事業の人員費は大幅に減額されているが、その理由を伺う。

答弁 中途退職者が見込みより多く、退職者数が新採用職員数を上回った。それに伴い嘱託職員を雇用したため差額が生じた。

12月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等	審議結果	議案等	審議結果
議案第6号 嘱託職員及び臨時的任用職員の任用、給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決	議案第2号 平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第7号 消防委員会設置及び運営条例等の一部改正について	可決	議案第3号 平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決
議案第9号 国民健康保険税条例の一部改正について	可決	議案第4号 平成27年度水道事業会計補正予算(第3号)について	可決
議案第10号 災害見舞金等支給条例の一部改正について	可決	議案第12号 南那須地区広域行政事務組合規約の変更について	可決
議案第11号 運動施設設置、管理及び使用料条例の一部改正について	可決	議案第13号 南那須地区広域行政事務組合規約の変更に伴う財産処分について	可決
議案第1号 平成27年度一般会計補正予算(第3号)について	可決	議案第14号 平成27年度農地・農業用施設災害復旧事業の施行について	可決

(起立による採決)

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																	
		相馬	小堀	滝口	矢板	望月	田島	川俣	久保	渡辺	高徳	佐藤	沼田	樋山	中山	高山	小森	平塚	
議案第8号 税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※掲載は採決順で、議長(佐藤議員)は表決に加わらない。
※議案第6号、認定第1号～第9号は、上程・質疑の後、関連する常任委員会に付託され、最終日に採決

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

12月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
請願書第2号	森林吸収源対策に係る安定財源確保及び山村振興対策の推進を求める請願について	小森 幸雄	採択

3月定例議会は、3月2日(水)開会予定です。

※正式な日程は2月23日に開催される議会運営委員会で決定されます。



豪華な笠鉦・屋台を棧敷席から観賞

昨年の12月3・4日に実施した市議会3常任委員会合同視察研修の概要について、報告いたします。
今年の11月には「山あげ行事」が山・鉦・屋台の分野でユネスコ無形文化遺産に登録される予定ですが、同じく同遺産に登録される埼玉県秩父市の「秩父夜祭」と、本市が進めるジオパーク構想の先進地でもある秩父市のジオサイトや埼玉県立自然博物館等の視察研修を行いました。



ジオサイト「取方の大露頭」の見学風景

秩父夜祭は、京都祇園祭・飛騨高山祭と共に日本三大曳山祭りの一つに数えられ、三百数十年の歴史があります。秩父神社からお旅所といわれる大祭本部までの市街地には露店が連なり、そこを歩き交う人々が重なり合って歩くさまを目の当たりにして、約30万人の人出といわれる祭りの熱気と活力を実感しました。
祭りの由来は、秩父神社に祀られている妙見菩薩(女)と武甲山に住む龍神(男)が年に一度、12月3日にお



冬の夜空を彩る花火

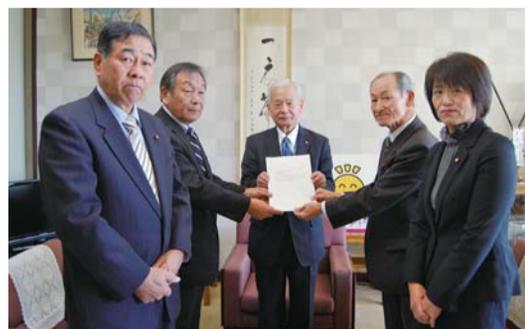
お旅所には約3千余の棧敷席が設けられ、団子坂を上り観衆の前に集結する6基の豪華な笠鉦・屋台と、冬の夜空に次々と打ち上げられる花火の迫力には感動を覚えました。
今回の秩父夜祭とジオサイトの視察研修は、本市の山あげ祭やジオパーク構想において、人々が魅了して止まない感動分岐点をどのように創出するか、そのヒントが得られたと感じる大変有意義な研修でした。
総務企画常任委員長 久保居光一郎

3常任委員会合同視察研修(秩父市文化交流事業併催)

研究報告

12月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
11月24日(火)	開会・上程・採決・付託	5人
11月25日(水)	一般質問	19人
11月26日(木)	一般質問	11人
11月27日(金)	一般質問	9人
12月1日(火)	上程・報告・採決・閉会	2人
計		46人



報告書を市長へ提出する議員

平成25年度決算の審査(平成26年9月議会)及び、平成27年度予算の審査(平成27年3月議会)の際、各常任委員会は合計56項目の要望意見を市に出しました。行財政改革調査特別委員会(樋山隆四郎委員長)では、これらの項目については、市その後の対応状況を4段階に分けて評価し、昨年の12月1日に「予算・決算審査の中で出された要望・意見等(評価項目)追跡調査評価報告書」として市長に提出しました。
評価報告書の詳細については、ホームページに掲載しております。

行財政改革調査特別委員会

あしがき
月日のたつのは早いもので慌しい年末、そして新年も早や一カ月を終えようとしている。
春は目の前、芽吹き、新緑となる。
いよいよ本年7月から選挙に18才で参加できることになった。少子高齢化の進む中で若者には大いに政治に関心をもち、共鳴する者に投票することで意思表示してほしいものである。
地方公共団体、国そして国際情勢を見ても難問山積の時代である。
進むべき方向を見誤らないよう冷静な選択そして参加が要求される。
さて、暮れのフィギュアスケートでの羽生結弦選手には驚かされた。
演技のたびに世界最高得点を連発し次々と歴史を塗り替えた。
プレッシャーのかかる中、強い精神力と過酷な練習に耐えた自信溢れる演技で銀盤に舞った。
自分自身に限界をつくらない限り、まだまだ進化するのである。冷静かつ貪欲な向上心には感服すると同時に同じ日本人として誇りに思う。
成人前の18才よりの選挙権、意義ある一票とし大切に生かしてほしい。
渡辺 健寿 議員

